

調 査 研 究 結 果

観 点	種目	発行者	教科書名
	音 楽	教育出版株式会社	小学音楽 おんがくのおくりもの 1 小学音楽 音楽のおくりもの 2 小学音楽 音楽のおくりもの 3 小学音楽 音楽のおくりもの 4 小学音楽 音楽のおくりもの 5 小学音楽 音楽のおくりもの 6
取 扱 内 容	<p>○歌唱については、下記のような学習活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することができるようになっている。</p> <p>第1, 2 学年～音楽に合わせて体を動かしたり、声の感じや強さを変えたりして歌う活動 第3, 4 学年～曲に合った歌い方を見つけたり、響きを大切に歌い方を工夫したりして歌う活動 第5, 6 学年～表現を工夫して聴き合いながら歌い合わせたり、思いや意図を大切にしながらみんなで表現を工夫したりして歌う活動</p> <p>○器楽については、下記のような学習活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することができるようになっている。</p> <p>第1, 2 学年～一つの器楽からいろいろな音を出したり、楽器を選んで歌に合わせて演奏する活動 第3, 4 学年～リコーダーの音でまねっこ遊びをしたり、パートの役割を生かしたりして演奏する活動 第5, 6 学年～パートの役割や曲の特徴を生かしたり、旋律や響きの変化を捉えたりして演奏する活動</p> <p>○音楽づくりについては、下記のような学習活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することができるようになっている。</p> <p>第1, 2 学年～リズムをつくって遊んだり、たいこの音やリズムを声で表したりして音楽をつくる活動 第3, 4 学年～伴奏に合わせて旋律を作ったり、音階の音を選び、友だちと旋律をつなげたりして音楽をつくる活動 第5, 6 学年～和音に合わせて旋律を作ったり、音の重ね方、強弱、速さなどを工夫したりして音楽をつくる活動</p> <p>○鑑賞については、下記のような学習活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することができるようになっている。</p> <p>第1, 2 学年～音楽に合わせて体を動かしたり、いろいろな音や旋律の移り変わりに気付いたりして聴く活動 第3, 4 学年～楽器の音色や曲の流れを捉えたり、曲の流れを感じ取り全体を味わったりして聴く活動 第5, 6 学年～曲のおもしろいところを見付けたり、世界のいろいろな声の表現や楽器のひびきに気付いたりして聴く活動</p> <p>○共通事項については、下記のような学習活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することができるようになっている。</p> <p>第1, 2 学年～強さや速さを感じ取って聴いたり、音の重なりやリズムを感じて演奏したりする活動 第3, 4 学年～旋律の変化や流れを感じ取って聴いたり、拍の違いを感じて演奏したりする活動 第5, 6 学年～主題の変化や伴奏の動きを感じ取って聴いたり、旋律の動きや重なりを感じて演奏したりする活動</p>		

	<p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第1, 2学年では、「どれみとなかよし」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、選んだ音に合わせて手の高さを工夫する学習の後に、歌に合わせて体を動かすなど、考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられている。第3, 4学年では、「日本と世界の音楽」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、おはやしづくりの後に、世界に伝わるいろいろなリズムや歌を楽しむなど、考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられている。第5, 6学年では、「アンサンブルのみりょく」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、交響曲の鑑賞の後に、思いや意図を大切にしながらみんなで表現を工夫するなど、考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられている。</p>
<p>内容の構成・排列</p>	<p>○内容の構成・排列については、第1, 2学年では、いろいろな太鼓の音を楽しむ学習の後に、おまつりの音楽を作る学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できる工夫がなされている。第3, 4学年では、音の動き方を生かして旋律を作る学習の後に、旋律の特徴を生かして歌う学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できる工夫がなされている。第5, 6学年では、思いや意図を大切にしながら表現を工夫して歌い合わせる学習の後に、互いのパートのかけ合いや重なりを生かして器楽演奏する学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できる工夫がなされている。</p> <p>また、北海道にかかわりのある内容については、第4学年において、「日本と世界の音楽」の題材として「ソーラン節」が取り上げられ、「伝えられてきた歌を楽しもう」という学習めあてが示されている。その他に、音楽ランドにおいて、歌唱曲「札幌の空」が取り上げられ、北海道の都市が曲名となっているなど、北海道に親しみをもって学習に取り組めるようになっている。第5学年において、「歌のふるさとを尋ねて」と題し、「赤とんぼ」の作詞者である三木露風が北海道北斗市の修道院で誕生した経緯と現在の写真が紹介されている。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○折り込みを使ったワイドな誌面で、歌詞に忠実な写真を掲載したり（3～6学年）、即興的に表現する活動を取り入れたり（第1, 2学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○巻頭に「学習マップ」を掲載し、各題材で学習する内容を解説して見通しをもたせたり（全学年）、「学習の進め方」コーナーを設け、それぞれの学習の目的や留意点を簡潔に示したり（第3～6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）、他教科と関連する教材として「ショートタイムラーニング」を掲載したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、旋律の動きを捉えることができる動画を活用できるようにする（第3～6学年）など、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>○学習用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>

調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	音 楽	株式会社 教育芸術社	小学生のおんがく 1 小学生の音楽 2 小学生の音楽 3 小学生の音楽 4 小学生の音楽 5 小学生の音楽 6
取 扱 内 容	<p>○歌唱については、下記のような学習活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することができるようになっている。</p> <p>第1, 2学年～音楽に合わせて体を動かし声を合わせたり、声の強さに気を付けて呼びかけ合ったりして歌う活動</p> <p>第3, 4学年～友だちと声やリズムを合わせたり、声が重なり合う美しさを感じ取ったりして歌う活動</p> <p>第5, 6学年～和音の響きの移り変わりを感じ取ったり、曲想を生かして言葉や旋律のまとまりを大切にしたりして歌う活動</p> <p>○器楽については、下記のような学習活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することができるようになっている。</p> <p>第1, 2学年～歌に合わせて楽器でリズムを打ったり、リズムを選んで歌と重ねたりして演奏する活動</p> <p>第3, 4学年～リコーダーを吹く息の使い方に気を付けたり、パートの役割を生かしたりして演奏する活動</p> <p>第5, 6学年～いろいろな楽器の音が重なり合う響きを味わったり、曲の特徴にふさわしい演奏の仕方を工夫したりして演奏する活動</p> <p>○音楽づくりについては、下記のような学習活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することができるようになっている。</p> <p>第1, 2学年～ことばでリズムをつくったり、リズムの繰り返しを使ったりして音楽をつくる活動</p> <p>第3, 4学年～繰り返しや変化を使ってまとまりのあるリズムをつくったり、日本の音階のよさを感じ取ったりして音楽をつくる活動</p> <p>第5, 6学年～打楽器の音色や音楽の仕組みを生かしてリズムアンサンブルをつくったり、旋律をつなげたり重ねたりして音楽をつくる活動</p> <p>○鑑賞については、下記のような学習活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することができるようになっている。</p> <p>第1, 2学年～音楽に合わせて体を動かしたり、いろいろな楽器の音の中から好きな音を探したりして聴く活動</p> <p>第3, 4学年～旋律の音の上がり下がりに気付いたり、音楽が表している様子を思い浮かべたりして聴く活動</p> <p>第5, 6学年～いろいろな楽器の音が重なり合う響きを味わったり、世界の様々な楽器の組み合わせから生まれる響きを味わったりして聴く活動</p> <p>○共通事項については、下記のような学習活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することができるようになっている。</p> <p>第1, 2学年～拍に乗ってリズムを感じ取って聴いたり、旋律の繰り返しを感じて演奏したりする活動</p> <p>第3, 4学年～旋律の重なりを感じ取って聴いたり、リズム伴奏の面白さを感じて演奏したりする活動</p> <p>第5, 6学年～詩と音楽の結びつきを感じ取って聴いたり、歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想を感じて演奏したりする活動</p>		

	<p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第1, 2学年では、「はくこのってリズムをうとう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、音楽に合わせてリズムを打つ学習の後に、習ったリズムを選んで歌いながら打つなど、考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられている。第3, 4学年では、「日本の音楽でつながろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、箏曲を鑑賞した後に、日本の音階のよさを感じ取りながら旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられている。第5, 6学年では、「詩と音楽との関わりを味わおう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、日本歌曲の鑑賞の後に、曲想を感じ取って、思いが伝わるように歌うなど、考えを広げたり、深めたりする活動が取り上げられている。</p>
<p>内容の構成・排列</p>	<p>○内容の構成・排列については、第1, 2学年では、いろいろな楽器の音から好きな音を探す学習の後に、音を重ねて音楽づくりをする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できる工夫がなされている。第3, 4学年では、旋律の特徴を感じ取って聴く学習の後に、旋律の特徴を生かして歌う学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できる工夫がなされている。第5, 6学年では、日本の旋律の美しさを味わいながら歌う学習の後に、日本の民謡を調べる学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できる工夫がなされている。</p> <p>また、北海道にかかわりのある内容については、第4学年において「ちいきにつたわる音楽に親しもう」の題材として「アイヌ古式舞踊」が取り上げられ、写真を用いて説明・紹介されている。第5学年において、「日本の音楽に親しもう」の題材として「ソーラン節」が取り上げられ、説明やイラスト、及び、リズムの特徴が図に示されている。同様に、北海道民謡の「江差追分」の紹介がされるなど、北海道に親しみをもって学習に取り組めるようになってきている。その他に、北海道出身である半崎美子作詞の「地球へ」という歌唱曲が取り扱われている。第5, 6学年では、札幌交響曲楽団が演奏する見開き写真を使ったワイドな誌面で掲載している。</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○学習をサポートする写真やイラストを掲載したり（第3～6学年）、ナビゲーターのキャラクターを取り入れたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○巻頭に「学習マップ」を掲載し、1年間で学習する内容の見通しをもたせたり（全学年）、巻末に「ふり返りのページ」を掲載し、学習を振り返ることができるようにしたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ユニバーサルフォントを使用したり（全学年）、外国語活動と連携した平易な英語歌詞の歌を掲載したり（第3～6学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、タブレット端末で学習するコンテンツ（ムーブの部屋）にアクセスし、参考となる音源や資料を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>○学習者用のデジタル教科書の発行が予定されている。</p>